

日光中学校区小中一貫教育」 グランドデザイン

1 ねらい

- 1) 「学習指導の充実」、「心の教育」、「健康安全の教育」をバランスよく推進し、児童生徒に生きる力をはぐくむため、小中学校教職員が連携して9年間を見通した系統的な一貫教育を行う。
- 2) その中でも、特に、学力向上をねらいとし、小学校と中学校の教職員が合同で研究授業、授業研究会、合同研修会等の交流を通して授業改善を図り、教師の資質向上に努める。
- 3) 9年間を見通した「目指し児童生徒像及び育てたい資質能力」を共有し、さらに各教科等における「発達段階に応じた育てたい資質能力」(資料1)を基に、9年間を通して系統的・連続性のある質の高い教育活動を実践していく。
- 4) 小中の学校間の連携だけでなく、可能な範囲で高校との連携を図るとともに、「社会に開かれた教育課程」の視点から、地域・保護者との連携も推進し、「縦・横・斜め」のあらゆる方向から連携を強めていくことで教育活動の充実を図っていく。

2 小中連携・一貫教育の取組内容

- 1) 小中学校教職員の合同研修会、研究授業・授業研究会の開催
- 2) 互見授業を通じた小中学校間の授業交流
- 3) 長期休業期間を利用した合同研修会の開催
- 4) 地域・学校保健委員会
- 5) 保護者・地域への情報発信(スクラムの発行)
- 6) その他小中連携・一貫教育(小・小連携も含む)に関すること

3 目指す児童生徒像と育てたい資質能力

(○児童生徒像、・育てたい資質能力)

	かしこく	やさしく	たくましく
前期 小1 小2 小3 小4	○自分の考えをもち、学び合える児童 ・「学ぶことは楽しい」と気づくことができる。 ・人の話をきちんと聞き、自分の考えを話すことができる。	○友だちのよさに気づき、仲良く助け合う児童 ・元気にあいさつをすることができる。 ・仲良く、助け合うことができる。	○元気に生活し、最後まで頑張る児童 ・元気に遊んだり、運動したりできる。 ・身の回りのことを自分でできる。
中期 小5 小6 中1	○自分のめあてをもち、友だちと学び合い対話できる児童生徒 ・学ぶことの必要性に気づき、自らのめあてををもって学習に取り組むことができる。 ・聞いたことに関連づけて、自分の考えをもち正しく伝えることができる。	○友だちのよさを認め、励まし助け合う児童生徒 ・自他の良さに気づき、互いに協力し合うことができる。 ・学級や友だちのために進んで行動することができる。	○安全で元気に生活し、最後までねばり強く取り組む児童生徒 ・積極的に体を動かし、運動の楽しさを実感できる。 ・健康管理や規則正しい生活を心がけることができる。
後期 中2 中3	○自ら目標をもち主体的に学ぶ生徒 ・学ぶことの意義を理解し、主体的に学習することができる。 ・他者と意見や考えを伝え合うことで、互いに高め合うことができる。	○互いのよさを認め高め合う生徒 ・自他のよさを認め、互いに関わり合う中で、望ましい人間関係を築くことができる。 ・集団の一員としての自覚をもち、社会に貢献することができる。	○心身ともに健康で最後までやり抜く生徒 ・自分の課題を意識し、工夫して運動に取り組むことができる。 ・健康に生きることの大切さを理解し、健康を意識した生活を実践できる。

資料1 発達段階に応じた育てたい資質能力

は資質能力
日光中学校区

	前期 (小1→小4)	中期 (小5→中1)	後期 (中2、中3)
全教科 共通	学ぶ楽しさ	学び方を学ぶ	学びのひとり立ち
国語	相手や目的の応じ調べたことなどについて筋道を立てて話す、話の中心に気を付けて聞く、調べたことが伝わるように段落相互の関係などに注意して文章を書く、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができる。	目的や意図に応じ考えたことや伝えたいことについての的確に話す、相手の意図をつかみながら聞く、考えたことなどを文章全体の構成や効果を考え文章に書く、内容や要旨をとらえながら読むことができる。	目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す、考えを比べながら聞く、論理の展開を工夫して書く、評価しながら読むことができる。
社会	身近な地域や生活の中から、興味関心をもって学習に取り組み、学んだことを正確に表現することができる。	地球儀や地図、資料等を有効に活用して表現したり、社会的事象について関連付けや、因果関係から考えたりしながら表現することができる。	主体的に生徒が自ら学習課題を追究し、課題の設定を工夫し、社会的事象を多面的・多角的な視点から表現することができる。
算数 数学	数や図形の性質を調べ、計算の仕方や結果について説明することができる。	数や図形などの性質などを的確に表し、自分の考えや思いを伝え合うことができる。	推測したり見いだしたりした数や図形の性質などを、根拠を明らかにしながら、筋道を立てて表現することができる。
理科	自然の事物現象の中から違いや変化を見出し、文章や言葉で表現することができる。	身近な自然の中から自ら課題を見出し、計画的に追求し、自らの考えを言葉や文章、図、絵などで表現することができる。	観察・実験の結果を目的や仮説のもとに的確に整理し、他者に分かりやすく表現することができる。
外国語	短く簡単なあいさつや、身近で具体的なものや人を表す表現に慣れ親しむことができる。	初歩的な語彙や表現を用いて、自分自身のことや体験したことなどについて書いて発表したり、短い会話をしたりすることができる。	聞いたり読んだりしたことについて、感想や意見を述べ合ったり、問答することができる。また、さまざまなテーマについて情報や自分の考えなどが正しく伝わるように書いて発表することができる。
道徳	相手の気持ちを押し量り、相手（人だけではなく）動植物や自然 集団や社会も含めて）とっても自分にとっても気持ちのよい行動をとろうとする。	自分自身をしっかり見つめ、どうしてそのようなことが起きるのか、どうしてそうなるのか、どうしてそう考えるのか自分のかかわりのなかでとらえることができる。	人としての生き方についての自覚を深め、自らよりよく生きようとし、様々な場面、どのような状況においても、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができる。
特別 活動	仲間と仲良くして協力し合いながら集団活動ができる。	集団における自己の役割と責任を自覚し主体的に集団活動ができる。	主体的に社会や集団の一員としてよりよく生きようとする自覚を深め、自ら考え、自ら行動することができる。
生 活 総 合	身のまわりの身近なものに興味関心を持ち、それをもとに主体的に課題を追究することができる。	自ら設定した課題を仲間と協同して整理・分析し、探究的に課題を追究することができる。	追究した課題をもとに、これから自分が社会や地域でどうかかわっていくか具体的に提示することができる。
目指す 学力の 質	知 っ て い る ・ で き る 【知識の獲得と定着】		使 え る 【知識の活用と創造】